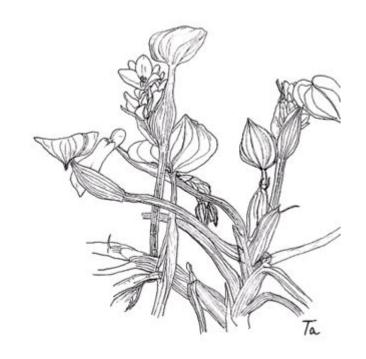
# 稲城野草散策の会

#### 野草スケッチ コナギ(ミズアオイ科)



1996/09/28

稲城市坂浜

絵と文 Ta

コナギは田んぼ雑草である。

いい花なのだが、農家の方がいる前で誉めたりするのは慎みたい。 檜原村でのオフを行ったとき、サルについての注意を申し渡されたことがある。 サルを見てもミーハーな対応をしてはいけない、農家にとっては畑を荒らす害獣なのだから、という主旨であった。

田んぼ雑草についても同様な配慮が必要なのである。

コナギはイネとともに渡来した、史前帰化植物とされている。

会報第10号 2005年10月9日発行 発行責任者 尼子 房夫

稲作が始まった縄文後期から現代にいたるまで、米作りの歴史は雑草との戦いの 歴史でもあったわけだ。

最近の田んぼからコナギがほとんど消えてしまったのは、農薬のおかげに違いない。雑草1本生えていない整然とした田んぼに、薄気味悪さを覚えてしまうのは 私だけだろうか。

コナギを見ると、なにかほっとしたものを感じる。

黒川の谷戸の奥に小学校の実習用田んぼがある。

真夏に訪れたとき、コナギがイネの間をびっしりと埋めていた。まだ花は付けていない。当然農薬は使っていないのだろうと、ほほえましい気持ちになる。

そこへ先生に引率された生徒が10数人やってきて、いっせいに田んぼへ入って 草取りをはじめた。

私は傍らでタカトウダイ(トウダイグサ科)のスケッチをしながら様子を見ていた。見る見るうちにコナギは駆除されてしまった。

まあ、これもコナギの運命なのだ。これで絶滅するようなヤワではない。

コナギが生えている場所は水の中である。

スケッチしたくてもどうにもならない。この草丈だと腹這いになる。 まさか田んぼへ入って腹這いになるわけにもいかないではないか。 広い畦のすぐ傍まで来て咲いてくれるとありがたいのだが。

ようやく格好の足場条件付き被写体と巡りあったのは、坂浜の休耕田であった。 「スミレの丘」(アカネスミレの項参照)を下りたあたりである。

田んぼを畑に変えるらしく、水を止めてあるが、まだそこそこ潤ってはいた。 畦はやや湿っているが、シートを敷けばなんとかなるだろう。

畦に腹這えば、なんとかスケッチできる位置で咲いていたのがうれしかった。

改めてスケッチを眺めると、右側の花が葉の陰に隠れている。

本当は、こういう構図はとりたくないのだ。

花を前面に持ってくるべきなのである。

このときは、どうがんばっても、足場の位置をこれ以上よくすることはできなかった。構図を絶対と考えれば、別の被写体を探すか、あるいは鉢などへ移植して 最良の構図を求めることが必要であろう。

だが、他の被写体で足場の良いものはなかったし、移植は、私のやらないところである。

人の都合で花をいじくって、すばらしい構図を得たとしても、どこかウソくさい 絵になってしまいそうな気がする。

花に合わせて、人間側が努力したり妥協することで得られるものも何かあるはずだ。それで絵としての出来が悪いのならば、また描けばよいではないか。 そんな気持ちだった。

描き直すといっても、チャンスがそう都合よく訪れるものではない。いつのまにか、描き直そうと思った気持ちも忘却の彼方である。

結果として、不完全な絵をお見せすることになってしまった。



#### 〔観察記録〕9月10日 武蔵嵐山

炎天下の下見のときと違ってスタートのときは曇りがちでしたが、段々晴れて 来ると暑くなりました。

今回は、マメ科が目に付きましたが、この仲間のヌスビトハギ、ヤブハギが並んで生えているところもあり、それぞれ比較することが出来ました。

昼食の槻川の橋では、馬場さんが魚釣りに挑戦。釣果はオイカワー匹、夕食のおかずとまでは行かなかったようです。

#### 番号札を付けたもの:

01 ハシカグサ、02 フジカンゾウ、03 シュウブンソウ、04 ガンクビソウ、05 ボントクタデ、06 イヌタデ、07 シンミズヒキ、08 ヒメキンミズヒキ、09 ヤブタバコ、10 ヌスビトハギ、11 キンミズヒキ、12 ダイコンソウ、13 ノササゲ、14 トキリマメ、15 ヤブハギ、16 コアジサイ、17 ヒヨドリバナ、18 ウツボグサ、19 コアカソ、20 チカラシバ、21 ヒヨドリジョウゴ、22 ヤブラン、23 タチシオデ、24 ハナタデ、25 マルバウツギ、26 アオミズ、27 ヤブミョウガ、28 ニョイスミレ、29 ヤブタバコ、30 シュウブンソウ、31 ギンミズヒキ、32 ゴショミズヒキ

#### お渡しした資料の中に入っていないもの:

ウンリュウヤナギ、ヒメコウゾ、ヤブマオ、ゴショミズヒキ、オシロイバナ、 アオビユ、サネカズラ、ミツバアケビ、アオツヅラフジ、ナツツバキ、モミジバ スズカケ、キンミズヒキ、シモツケ、フジカンゾウ、ツルマメ、アズキ、ヤブカ ラシ、オクラ、イチビ、ニョイスミレ、アマチャヅル、ザクロ、キヅタ、オオチドメ、エゴノキ、ハシカグサ、コヒルガオ、ハナイバナ、センナリホオズキ、キリ、オオバコ、ハコネウツギ、ツリガネニンジン、ノコンギク、キバナコスモス、タカサブロウ、ダンドボロギク、イヌキクイモ、アラゲハンゴンソウ、アキノキリンソウ、オニノゲシ、アスパラガス、ヤマジノホトトギス、ヤマノイモ、ジュズダマ、カゼクサ、ケチヂミザサ、チカラシバ、ネズミノオ、ガマ、ゼンマイ、ミサキカグマ(FAM)

#### 〔観察記録〕9月22日 横沢入下見

朝からの雨模様にもかかわらず16名の参加を得て、充実した観察ができたように思います。

雨がしとしと降り止まず、このままでは野外で立ったまま昼食、という事態になりそうなため、大悲願寺の軒先を借りて11時ころに「早昼」を済ませました。大悲願寺は花の寺としても有名らしく、引きも切らずに見学者が訪れるんですね。食事を終えて出発したのですが、横沢入へ着いた頃に後から追いかけてくる3人組の姿。離れたところで昼食を摂っていた3人に気がつかず、出発してしまったのでした。申し訳ありません m( ″) m

横沢入の谷戸では狙い通りツリフネソウが真っ盛り。休耕田を埋め尽くす・・・とまではいきませんが、かなりの群落も見られ、楽しめました。ミゾソバも大量。 ルーペで見るときれいな花ですね。

谷戸から五日市駅へ向かう林道ではキバナアキギリの群落がいたるところにあります。中には紫色の斑が入ったものもありましたが、こんなの初めてです。 逆に、ノダケは色の抜けたものがあったりして、花も人生いろいろ? 他にはフジカンゾウ、ヤブツルアズキ

、ヤブミョウガ、フユイチゴ、エゴマ、メナモミ、ヤマハギなど秋の花がたくさんあって、「大きな秋」を満喫できました。

ささやかは立川へ戻って行ないましたが、4時前からやっている店を発見できたのも大きな収穫(^\_^)でした。(Ta)

…大悲願寺は、古いお寺なのですね。伊達政宗公が家来を遣わして所望された という白い萩が丁度見頃で、雨の中次々と拝観客が訪れていました。

本番の25日は、台風の接近で大雨という予報で結局中止してしまい、申し訳 けありませんでした。

\* \* \* \* \* \* \* \* \*

#### 〔観察記録〕9月24日 フローラオフ・カヤツリグサ入門

本日は朝から雨でしたが、カヤツリグサ入門オフは実施しました。

集合時間の10時少し前に雨はあがり、12時までは曇りながら1滴の雨も落ちてきません。心行くまでカヤツリグサとたわむれることができました。

出てきたのはカヤツリグサ、コゴメガヤツリ、アゼガヤツリ、チャガヤツリ、 ヒナガヤツリ、コアゼガヤツリ、ヌマガヤツリ、ヒデリコ、テンツキ、ヒメヒラ テンツキ、サンカクイ、クログワイなどです。

正午過ぎから雨脚が強くなってきたため、中央公園の東屋へ避難し、その前に コンビニで買ったビールなどでのどを潤しながらの復習会。とてもとても有意義 でした(^o^)

東屋を出たら雨が上がって、傘はまったく必要ありません。その後、某お好み焼き屋へ行ってさらに復習&反省。いや〜、ものすごく勉強になった一日でありました。(Ta)

…1 O名以上の方が参加申し込みをされていましたが、早朝にかなり激しい雨が降ったため、結局参加者は、4名でした。(晴れ男の実力を知らないな!)

### 〔観察記録〕9月30日 鎌倉(広町緑地)下見

鎌倉下見オフは好天に恵まれ、汗ばむ陽気でした。参加のみなさま、お疲れさまでした。ここを訪れたのははじめてでしたが、「観光地鎌倉」とはほど遠い、ひなびた里山で、の~んびり歩くにはとてもいいところです。

いまの季節、花は少ないといわれていたのですが、ツリガネニンジン、カントウヨメナ、ワレモコウ、シュウブンソウ、ナンテンハギ、ヤブマメなどいろいろ楽しめました。

シダもなかなか豊富で、コモチシダ、オオイタチシダ、フモトシダ、ホシダ、 リョウメンシダ、イノデ、アスカイノデ、イワガネソウ、イワガネゼンマイなど など特に珍奇なものではありませんが、入門用には面白そうです。

周回コースの道がわからなくなるというハプニングもありましたが、これは下見ならではのスリルともいえます。

下見の下見まで行なって下さったなぎ(牧野内)さん、ありがとうございました。(Ta)

…西鎌倉でどこを歩くのかなと全然予想もつかなかったのですが、こんなフィールドがあったのですね。なぎさん、ご紹介ありがとうございました。

## 〔フローラオフ〕2005/10/10(月休)キャンプ村下見

\*\*\*10月行事「キャンプ村」(10/23)の下見です\*\*\*

稲城市坂浜にあるキャンプ村(ふれあいの森)は個人の所有地ですが、市が借り上げてキャンプ場として整備しているところです。通常、許可を得なければ入場できませんが、4~11月の土日、祝日には開放しています。

キャンプ村にはいい植生、いい植物があり、キャンプ村周辺の田んぼなどにも ひなびた景観が残っています。

ここへは毎年訪れていますが、今回きっちりと下見をしておこうと思います。

- 【日 時】2005年10月10日(月)10時~16時くらい ※小雨決行
- 【場 所】東京都稲城市
- 【集 合】京王相模原線若葉台駅改札口(1ヶ所)付近。午前10時集合
- 【交 通】京王調布駅より橋本行きに乗換えて5駅目(約10分) 急行は停まりません(各駅停車 or 快速はOK)
- 【コース】若葉台駅〜ふれあいの森入口〜南周遊路〜管理棟(昼食)〜大塚牧場 〜小田良地区〜老人ホーム〜日大グランド脇〜黒川地区〜若葉台駅 (解散)
- 【申込み】参加を希望される方は、おしゃべりる一むに案内書き込みがあります ので、ここをクリックして、それへの「返信」にて表明下さい

【持ち物】昼食、飲み物、雨具。あればルーペ、図鑑、双眼鏡など

【参加費】300円(保険代、資料代ほか)

【幹 事】尼子(FAM)、馬場(めりべ)、広沢(Ta)

【その他】・10/23の行事予定を参考にしてください(コースは変更予定)

- いままで「キャンプ村」と呼んでいましたが、「稲城ふれあいの森」 に名称がかわったようです
- ・ささやかは当然行いますが、場所は未定です

#### 《お願い》

定例観察会の集合場所には、原則として雨が降っても世話役は行くことにしていますが、強い台風などが来て、交通にも問題が出そうな場合には、行けない場合があると思います。台風などで、中止の可能性が想定されるときには、世話役に電話で確認するようお願いいたします。

携帯電話: 080-3287-7687 (広沢) 080-3397-9817 (尼子)

## 〔行事予定〕2005/10/23(日) キャンプ村

項目	説明
集合	am10時、京王相模原線若葉台駅 ※会旗目標
	若葉台駅の改札口は一個所だけです
交 通	京王線調布駅から相模原線橋本行快速または各停で5駅目
	小田急、多摩モノレールの場合は、多摩センター駅で京王線に乗換
	えて2駅目
	若葉台駅には急行は停まりませんのでご注意ください
行く先	キャンプ村(一回りして若葉台駅へ戻ります)
(解散場所)	若葉台駅にてpm4時頃解散予定
見所	秋の草花・・・リンドウ、アキノキリンソウ、リュウノウギク、ツ
その他	ルドクダミなど。運が良ければクルマアザミが見られるかも
地図	上谷戸 上谷戸大橋 坂 中
コース	若葉台駅→南黒川→日大グランド脇→小田良通り→西小田良谷戸→
	大塚牧場脇→上谷戸大橋下→上谷戸親水公園→第4公園→若葉台駅
	多少のアップダウンがあります
	コースは天候その他により変更する場合があります
	ご用のある方は途中で抜けても構いません
※小雨油行	参加由认み不要。会費当月300円

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円

# 〔行事予定〕2005/11/20(日) 奥多摩渓谷

項目	説 明
集合	午前10時、JR青梅線・奥多摩駅前 ※会旗目標
	奥多摩駅の改札口は一つです
交 通	新宿から乗換えなしで運行している「ホリデー快速・おくたま号」
	が便利です
	新宿発(おくたま号)8:19→立川8:47→多摩着9:49
	ホリデー快速の後ろ4両は武蔵五日市行きですので、前6両に乗っ
	てください
行く先	東京都奥多摩町
(解散場所)	(解散)鳩の巣駅15時半頃
見所・その他	奥多摩渓谷の紅葉を楽しみましょう。
地図	START TOS 白丸 保護 SIS NOS NOS NOS NOS NOS NOS NOS NOS NOS NO
コース	奥多摩駅前〜長畑〜神庭〜海沢〜数馬渓谷〜白丸湖〜鳩ノ巣渓谷〜
	鳩ノ巣駅 ニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	コースは天候その他により変更する場合があります
	ご用のある方は途中で抜けても構いません
※小雨油/5	· 参加由认み不要。会費当日300円

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円